



食料品卸会社専務

= 福山市

中島基晴さん(39)

福山のよさを多くの人に知つてもらおうと、保命酒などの福山の特産品を使って新商品の開発に取り組んできました。ですが、自分の活動について県議と話したことがありません。

県議は、公共事業に関心を持つだけでなく、地元の観光資源をもっと理解してもらいたいし、資源を生かすために県議会で議論してほしい。支援制度の拡充や県外への営業活動も重要です。観光資源や商品が注目され

こう
わたしは
選ぶ

観光資源にもっと理解を

ば、消費者は購買意欲がわく。地元の人も意欲的に開発して、熊野筆のように全国に通用する商品も生まれるでしょう。

県議は選挙の時だけではなく、普段から民との会話が必要です。街のこと

を市議や町議に任せただけでなく、県議も大いに参加するべきです。

県議選では、福山市を中心とした備後地区に経済効果をもたらす手法を考え、明確に行動できる候補者に一票を入れたいと思つています。知事の後援会の一連の事件で議会が混乱したことは県民にとって大きな損失で、早期に信頼を回復することを願っています。

(聞き手・向井光真)